

岡山県の地震 令和5年(2023年)9月

目 次

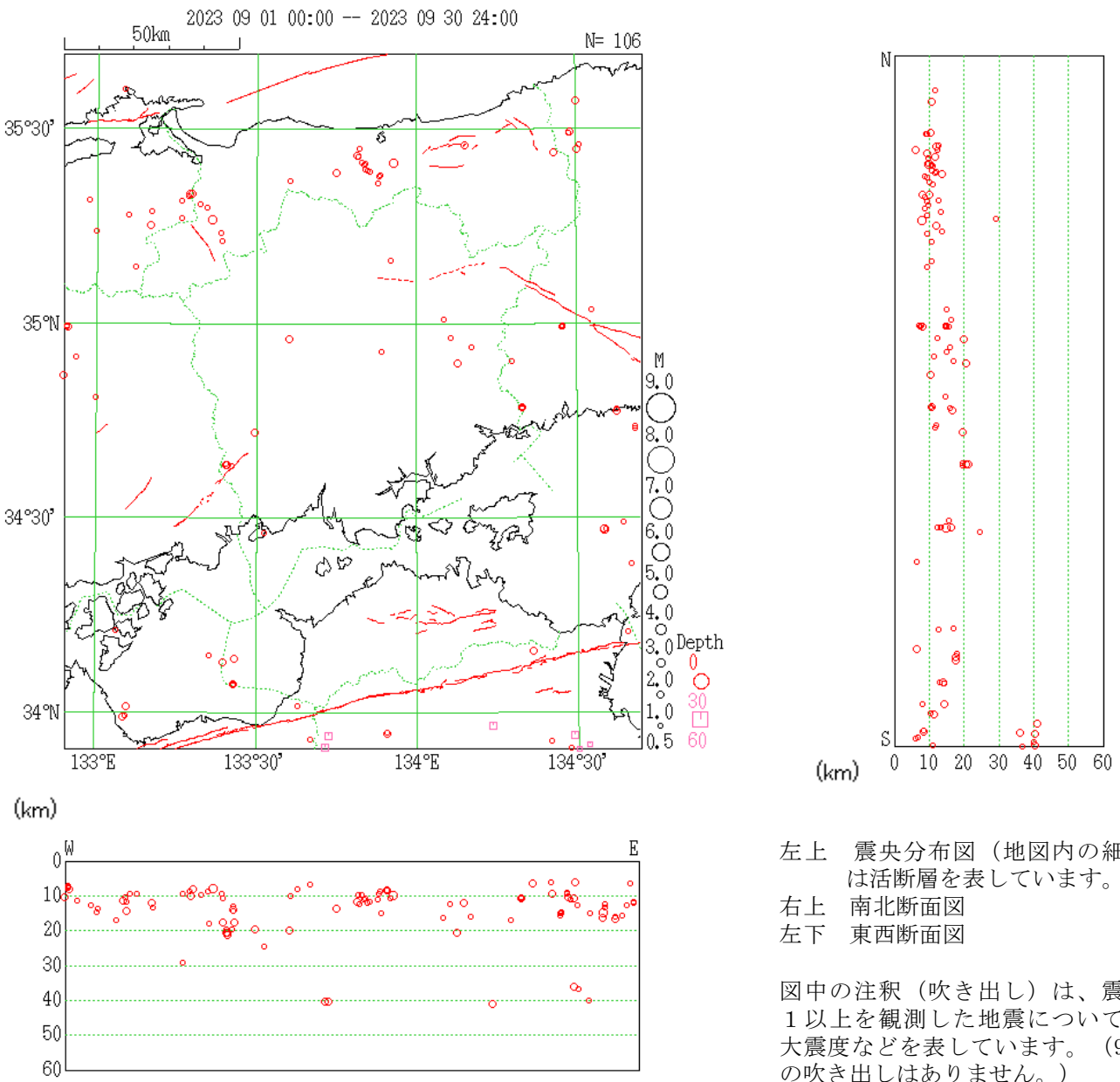
○岡山県及びその周辺の地震活動（9月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 2
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 2～3
○地震防災メモ No.213	
津波防災の日・世界津波の日について	… 4

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
 - この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
 - 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(9月)

震央分布図及び断面図



概況

9月の概況

- ・ 9月に震度1以上の揺れが観測された、上図の範囲内の地震は0回(前月:2回)でした。
- ・ 岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は9月中に2回(前月:3回)あり、そのうち震央が上図の範囲内の地震は0回、範囲外の地震は2回でした。

岡山県において震度1以上を観測した地震の表(9月)

2023年09月16日04時07分 徳島県北部	33° 54.0' N 133° 57.4' E 36km M3.4
----- 地点震度 -----	
岡山県 震度 1: 倉敷市下津井*, 里庄町里見*	

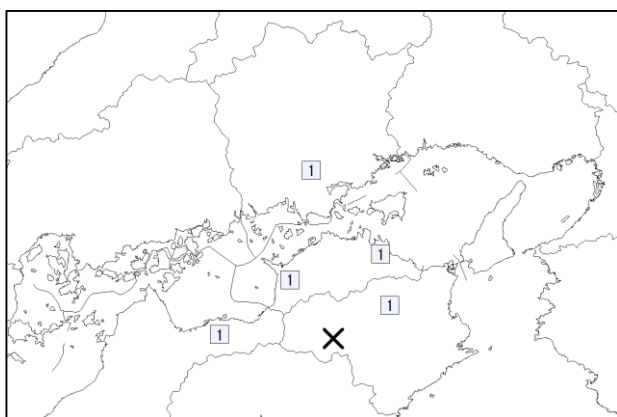
2023年09月26日23時13分 大阪府北部	34° 58.1' N 135° 23.9' E 10km M3.6
----- 地点震度 -----	
岡山県 震度 1: 真庭市禾津*	

- 注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。
 なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報(カタログ編)』に掲載されます。
- 2 地名に*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。
 なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(9月)

2023年9月16日04時07分 徳島県北部の地震

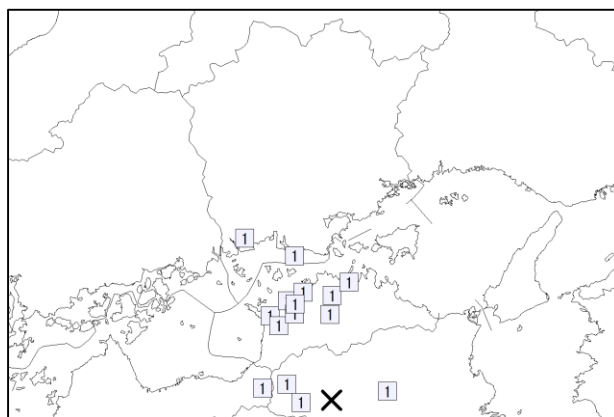
各地域の震度分布



<地震の概要>

16日04時07分 徳島県北部の地震(深さ36km、M3.4)により、岡山県倉敷市・里庄町、徳島県美馬市・三好市、香川県高松市・丸亀市・善通寺市・宇多津町・多度津町・三豊市・綾川町、愛媛県四国中央市で震度1を観測しました。

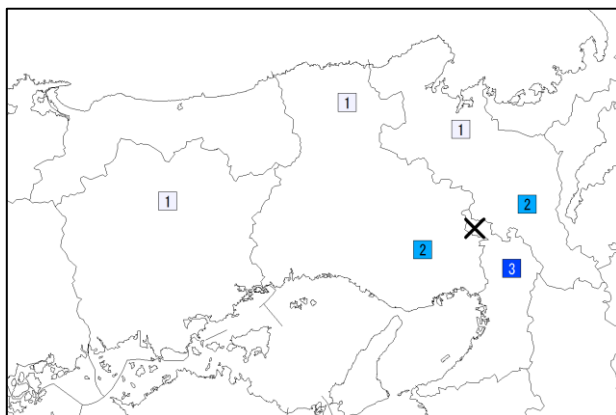
岡山県及び周辺観測点の震度分布



岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(9月:続き)

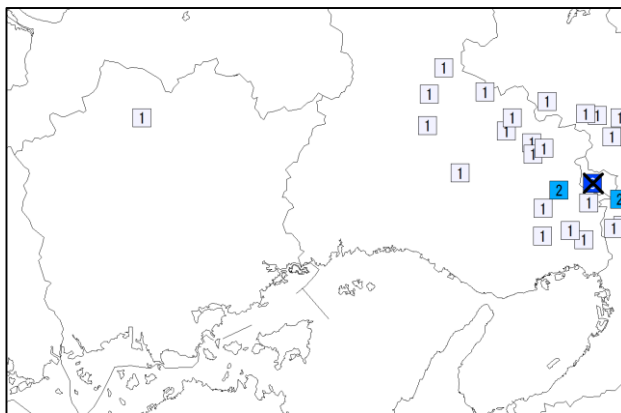
2023年9月26日23時13分 大阪府北部の地震

各地域の震度分布



×は震央	
凡 例	
7	震度 7
6+	震度 6 強
6-	震度 6 弱
5+	震度 5 強
5-	震度 5 弱
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

岡山県及び周辺観測点の震度分布



<地震の概要>

26日23時13分 大阪府北部の地震(深さ10km、M3.6)により、大阪府能勢町で震度3を観測したほか、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県で震度2～1を観測しました。

※岡山県内で観測された震度1について
地震発生当初の地震情報には含まれていませんでしたが、その後の精査の結果、採用されました。

津波防災の日・世界津波の日について

11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」です＞

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震での甚大な津波被害を踏まえ、津波対策を総合的かつ効果的に推進することを目的として、同年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。この法律の中で、毎年11月5日※を「津波防災の日」と定めています。また、2015年12月の国連総会では、11月5日を「世界津波の日」と定める決議が採択されました。

津波防災の日には、津波対策について理解と関心を深めるために、全国で様々な取り組みが実施されます。いつ起こるか分からない地震や津波から命を守るために何が必要かをあらためて考え、行動する日にしましょう。

主体的な避難行動のために＞

- ・ 津波警報等を見聞きしたら、津波避難場所や津波避難ビルへ速やかに避難しましょう。
- ・ 地震発生後、速やかに避難を開始できるよう、食料や飲料水、貴重品、医薬品、ペット用品等に加え、マスク、消毒液等を非常用持ち出し品としてあらかじめ準備しておきましょう。
- ・ 地震発生後、速やかに安全な場所まで避難できるよう、安全な高台の避難場所やそこまでの避難経路を実際に歩いてみるなど、あらかじめ把握しておきましょう。
- ・ 地震発生後、避難の妨げとならないよう、家具の転倒防止対策、食器等の落下防止の対策をしておきましょう。必要であれば、住宅の耐震化も早期に実施してください。
- ・ 安全でない自宅へ戻ったり、危険な場所にとどまったりしないよう、家族との安否確認の方法や、避難した際の集合場所等、各家庭で避難のルールをあらかじめ決めておきましょう。また、家族に要配慮者がいる場合は、避難の手段や避難先で必要になるものについて各家庭等で確認しておきましょう。

※11月5日は、1854年に太平洋沿岸で大きな津波被害をもたらした、『稲むらの火』のモデルにもなった安政南海地震の発生した日に因んだものです。

もっと詳しく知りたい方は「稲むらの火の館ホームページ」をご覧ください。

https://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/siryo_inamura.html

◇リーフレット「地震だ、津波だ、すぐ避難！」

津波警報等が発表された際の防災対応や津波フラッグについて説明したリーフレットです。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_flag/index.html



◇津波防災に関する取組みについて詳しく知りたい方は、「津波防災特設サイト」でご覧になれます。

<https://tsunamibousai.jp>